

はじめに

名古屋港の臨港地区は、港湾区域（水域）と一体として機能すべき陸域であり、港湾の管理運営を円滑に行うため、都市計画法に基づき指定されている。

また、分区は臨港地区において港湾の秩序ある開発や港湾機能を十分に発揮させ、港湾における諸活動を円滑に行わせるため、港湾法に基づき指定しており、条例により構築物の建設や用途を規制している。

臨港地区について今後も適切な管理を継続するため、臨港地区及び分区の指定並びに分区の変更を行うものである。

変更箇所図

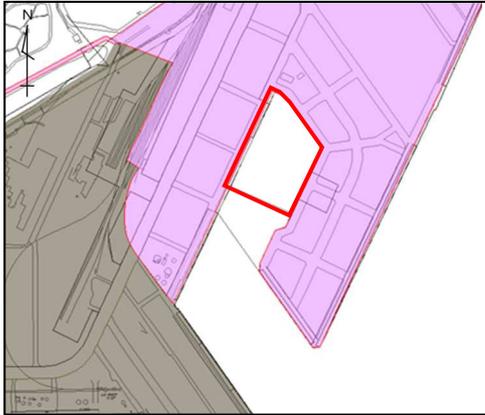


変更内容	変更地区
臨港地区及び分区の指定	稲永ふ頭
分区の変更	新宝ふ頭
	飛島ふ頭
	船見ふ頭

臨港地区及び分区の指定

① 稲永ふ頭（商港区 3.4ha）

【変更前】



【変更後】



凡例

	対象箇所
	商港区
	特殊物資港区

分区の変更

① 新宝ふ頭（商港区→工業港区 9.6ha）

【変更前】



【変更後】

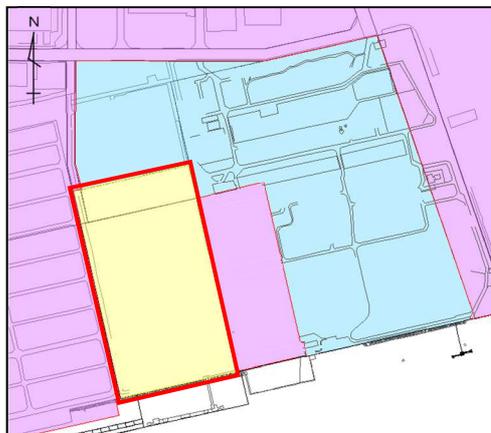


凡例

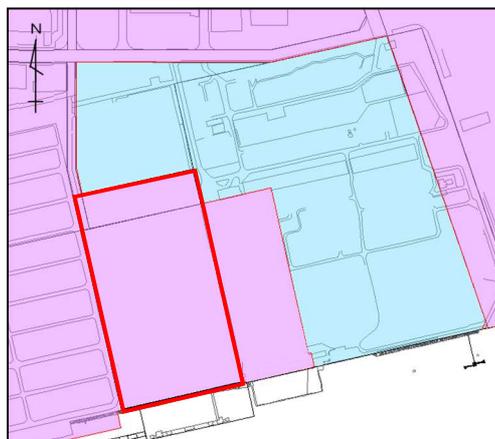
	対象箇所
	商港区
	工業港区
	分区指定なし

② 飛島ふ頭（保安港区→商港区 14.0ha）

【変更前】



【変更後】



凡例

	対象箇所
	商港区
	工業港区
	保安港区

③ 船見ふ頭（特殊物資港区→分区指定なし 18.1ha）

【変更前】



【変更後】



凡例

	対象箇所
	商港区
	工業港区
	特殊物資港区
	分区指定なし

名古屋港臨港地区面積

表 1 名古屋港臨港地区全域

(単位：ha)

分区名	変更前面積	指定面積	変更面積	変更後面積
商 港 区	1,089.4	3.4	4.4	1,097.2
工 業 港 区	2,561.9	—	9.6	2,571.5
特殊物資港区	243.6	—	△18.1	225.5
保 安 港 区	182.3	—	△14.0	168.3
修景厚生港区	168.2	—	—	168.2
分区指定なし	52.5	—	18.1	70.6
臨 港 地 区	4,297.9	3.4	0.0	4,301.3

内訳 1 名古屋都市計画名古屋港臨港地区

(単位：ha)

分区名	変更前面積	指定面積	変更面積	変更後面積
商 港 区	1,010.6	3.4 (稲永)	14.0 (飛島)	1,028.0
工 業 港 区	790.3	—	—	790.3
特殊物資港区	221.3	—	△18.1 (船見)	203.2
保 安 港 区	182.3	—	△14.0 (飛島)	168.3
修景厚生港区	149.6	—	—	149.6
分区指定なし	35.8	—	18.1 (船見)	53.9
臨 港 地 区	2,389.9	3.4	0.0	2,393.3

内訳 2 知多都市計画名古屋港臨港地区

(単位：ha)

分区名	変更前面積	指定面積	変更面積	変更後面積
商 港 区	78.8	—	△9.6 (新宝)	69.2
工 業 港 区	1,771.6	—	9.6 (新宝)	1,781.2
特殊物資港区	22.3	—	—	22.3
保 安 港 区	0.0	—	—	0.0
修景厚生港区	18.6	—	—	18.6
分区指定なし	16.7	—	—	16.7
臨 港 地 区	1,908.0	—	0.0	1,908.0